

## 5 - 5 潮位解析から見た御前崎の沈下 (1958 ~ 84)

### Crustal Subsidence of Omaezaki - Analysis of Tidal Records for 1958 - 84

気象研究所

Meteorological Research Institute

御前崎の水準変化を調べるために、1984年のデータを追加して、内浦・御前崎の潮位差などの解析を行った。解析方法は昨年までの報告(岡田, 1983, 1984)と同じである。

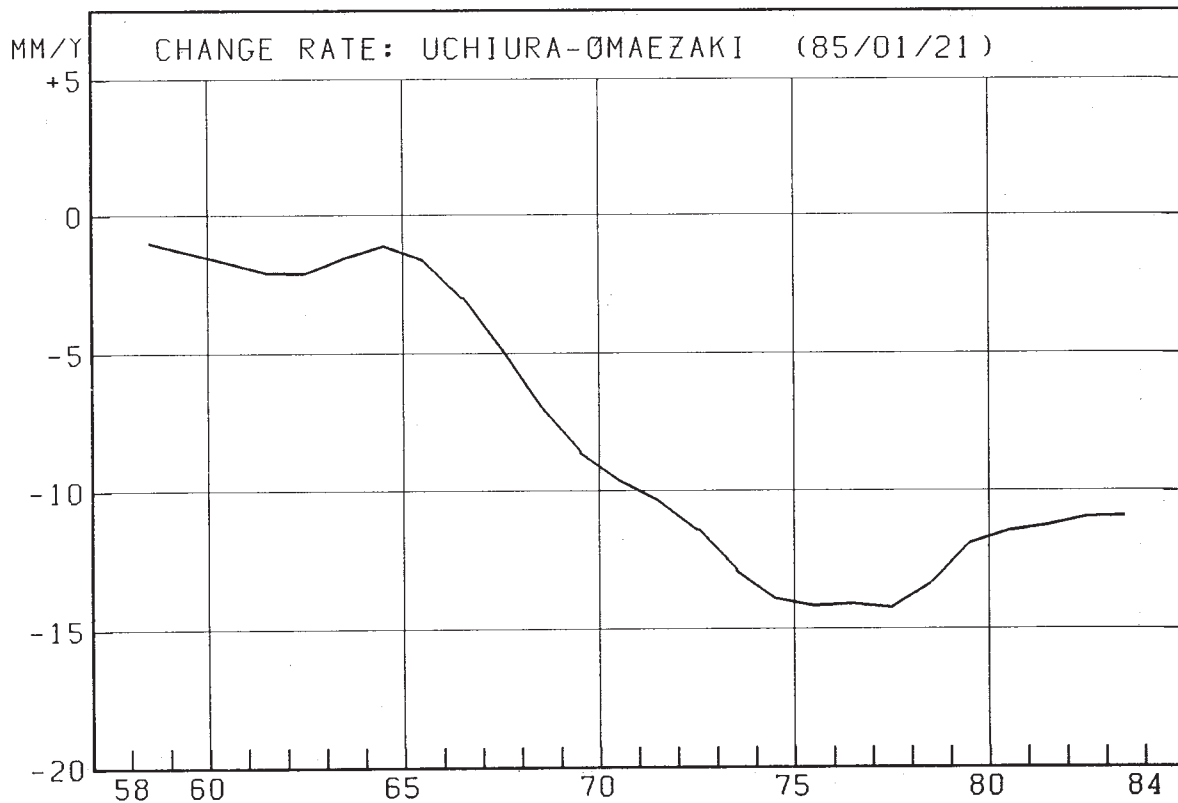
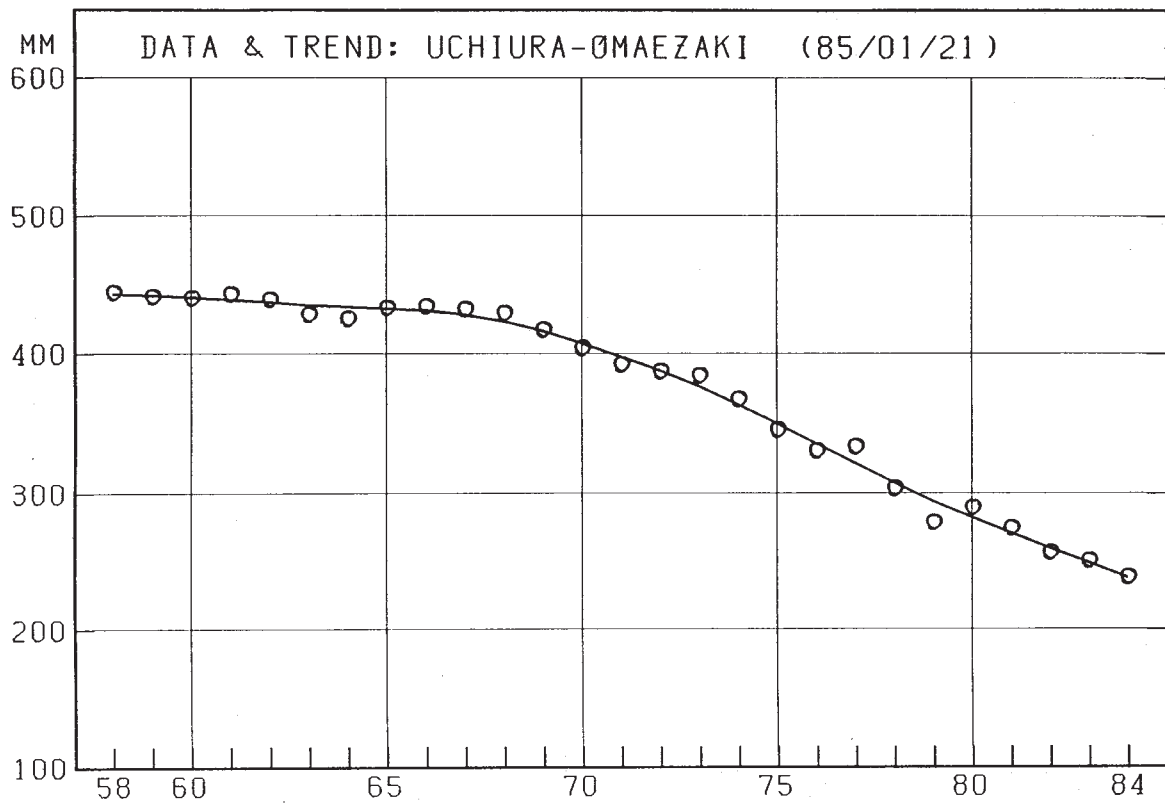
第1図(上段)に内浦・御前崎の潮位差を示すが、御前崎では1967年ころから沈下を続けており、昨年もその傾向が持続している。同図下段は沈下速度を示したものであるが、1978年ころからいくぶん遅くなっている。ここ数年は10mm / y強の速度で沈下しており、水準測量(掛川~御前崎)の結果と比べ、2倍程度の沈下速度である。

第2図は(内浦・舞阪の平均)と御前崎との潮位差であるが、浜名湖入口の工事の影響がなくなる1972年ころから後は、内浦・御前崎の潮位差とほぼ同様な傾向である。

(岡田 正実)

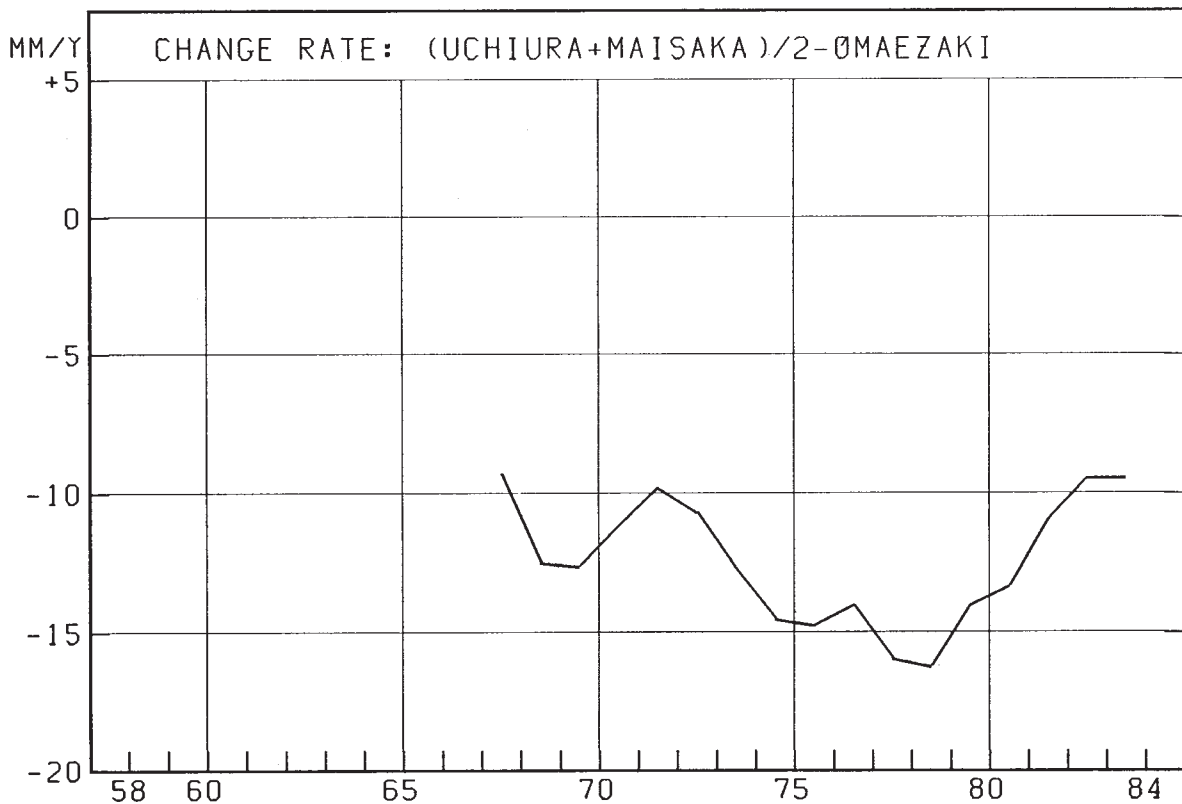
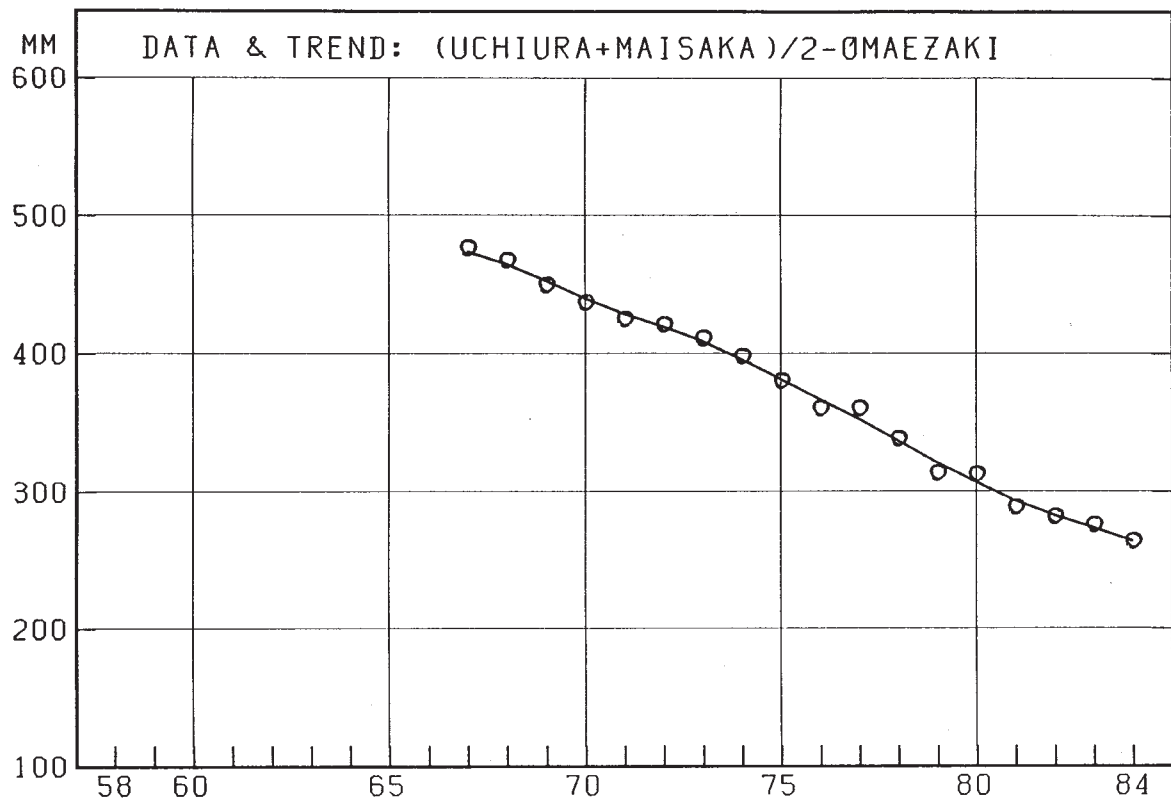
#### 参 考 文 献

- 1) 岡田正実：潮位解析から見た御前崎の沈下 (1958 ~ 82), 連絡会報, **30** (1983), 222 - 227,
- 2) 岡田正実：潮位解析から見た御前崎の沈下 (1958 ~ 83), 連絡会報, **32** (1984), 262 - 265.



第1図 内浦・御前崎の年平均潮位差（上段）およびその平滑曲線から求めた変化速度（下段）

Fig. 1 Differences in yearly mean sea level at Uchiura and Omaezaki (upper) and changes in subsidence rate at Omaezaki computed from the trend of mean sea level differences (lower).



第2図 (内浦・舞阪の平均)と御前崎との年平均潮位差 (上段)  
 およびその平滑曲線から求めた変化速度 (下段)

Fig. 2 Differences in sea level between the mean of Uchiura and Maisaka and Omaezaki (upper) and changes in subsidence rate at Omaezaki (lower).